

平成 19 年全国物価統計調査結果

本市の物価水準は東京都区部より約6%低い

平成 19 年 11 月 21 日現在で実施されました全国物価統計調査の結果のうち、物価水準の地域間の差を全国平均＝100 とした指数値で示した全国物価地域差指数の状況について報告します。全国物価統計調査は、国民の消費生活において重要な支出の対象となる商品の販売価格及びサービスの料金並びにこれらを取り扱う店舗の業態や経営形態など価格決定に関する様々な要素を幅広く調査し、物価の店舗間格差、銘柄間格差、地域間格差など価格差の実態を明らかにし、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的としています。名古屋市では、小売店舗及び飲食店・サービス業を営む事業所のうち、およそ 3,000 事業所が調査の対象となっています。

注) 全国物価地域差指数は、全国平均を基準（＝100）として、フィッシャー類似算式（ラスパイレス類似算式により求めた指数とパーシェ類似算式により求めた指数を用いて幾何平均したもの）を用いて作成した指数である。

●総合指数（18 大都市比較）

総合指数において、本市は 104.5 で全国平均 100 に比べて 4.5 ポイント物価水準が高くなっています。18 大都市で比較すると、本市は神戸市と並び 6 番目となっています。最も高い東京都区部の 111.4 と比べると 6.9 ポイント差であり、物価水準は約 6%低くなっています。 【図1、表1】

図1 大都市別全国物価地域差指数（総合指数） 【全国平均＝100】

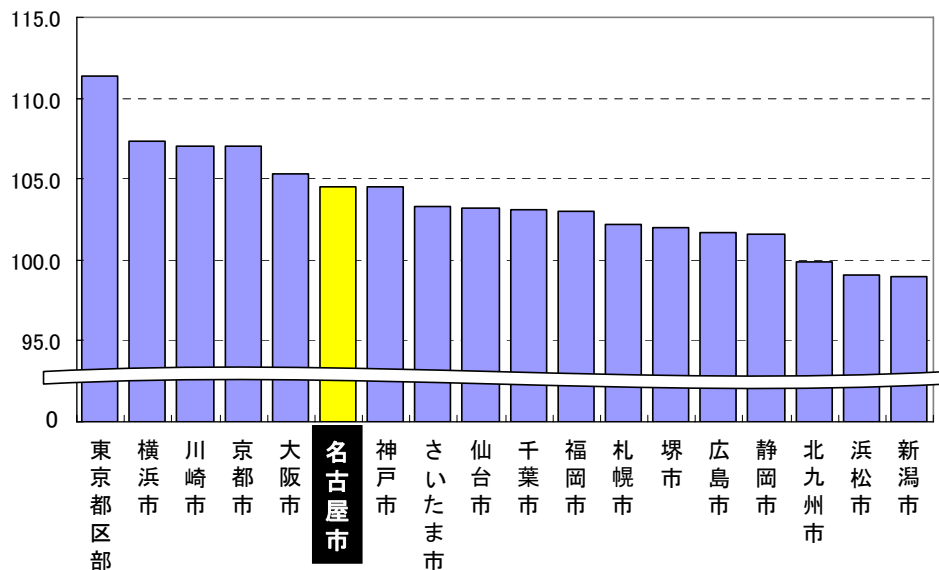


表1 大都市別全国物価地域差指数（大分類） 【全国平均＝100】

大分類	全国ウエイト (1万分比)	名古屋市	札幌市	仙台市	さいたま市	千葉市	東京都区部	横浜市	川崎市	新潟市	静岡市	浜松市	京都市	大阪市	堺市	神戸市	広島市	北九州市	福岡市
総合	10,000	104.5	102.2	103.2	103.3	103.1	111.4	107.3	107.0	99.0	101.6	99.1	107.0	105.3	102.0	104.5	101.7	99.9	103.0
食料	2,990	102.2	99.4	101.6	101.6	100.8	108.0	104.9	101.9	98.8	100.4	100.3	109.1	102.5	101.2	104.6	99.6	97.6	100.3
住居	680	105.9	96.7	100.4	115.9	107.9	156.5	135.1	147.2	104.8	102.7	96.6	104.3	114.7	104.4	103.1	90.1	82.0	101.2
光熱・水道	795	96.8	108.3	106.1	98.5	98.1	96.8	95.3	95.1	95.2	101.0	99.9	96.8	90.6	99.1	94.3	103.4	101.3	104.8
家具・家事用品	385	105.5	101.9	101.9	104.4	102.8	107.2	106.7	108.6	104.1	101.6	100.3	111.7	104.3	99.5	99.1	102.2	102.6	105.0
被服及び履物	528	122.4	126.1	133.9	119.1	124.5	135.2	123.3	120.1	96.2	115.6	109.1	127.4	136.4	108.0	132.5	125.1	130.6	139.5
保健医療	519	101.5	101.1	99.8	102.4	99.7	100.6	100.5	99.0	102.1	99.7	100.2	98.9	100.2	99.5	100.5	100.2	101.2	96.3
交通・通信	1,580	104.3	102.0	101.4	101.4	100.5	110.8	106.5	106.5	96.0	103.4	95.2	106.4	108.1	102.7	106.1	101.7	99.3	100.0
教育	435	101.8	104.8	99.5	102.4	102.9	112.9	111.9	112.5	96.1	103.0	91.3	113.4	112.9	112.0	101.8	101.4	97.3	97.0
教養娯楽	1,290	103.0	100.7	100.8	100.0	103.6	106.2	104.0	100.8	100.5	97.1	98.9	103.6	101.8	100.8	104.1	102.1	101.1	102.1
諸雑費	798	114.2	100.3	104.4	104.4	106.6	107.3	106.8	103.8	102.9	101.8	100.6	107.8	105.3	100.5	104.3	104.4	104.0	105.2

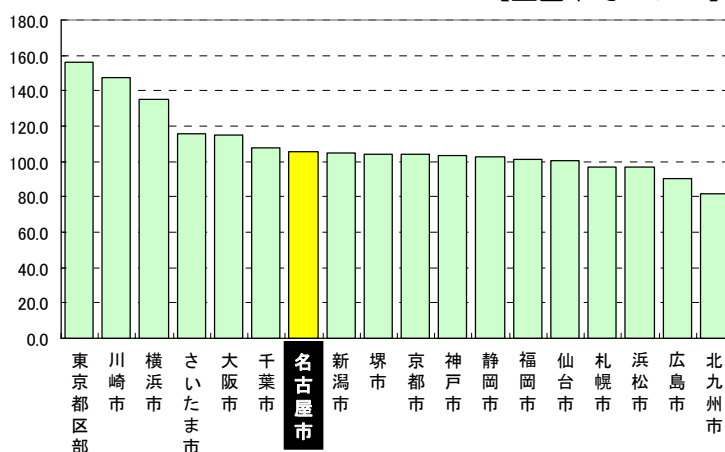
注) 全国ウエイトは、家計調査（平成 19 年平均）の世帯属性・地域別 1 世帯当たり支出金額等により作成した。

●大分類別指数（18大都市比較）

大分類別にみると、「住居」については、本市は105.9と18大都市で7番目となっています。また、大都市間の差が最も大きい分類であり、最も高い東京都区部の156.5と、最も低い北九州市の82.0とでは、74.5ポイントの差があります。【図2、表1】

図2 大都市別全国物価地域差指数（住居）

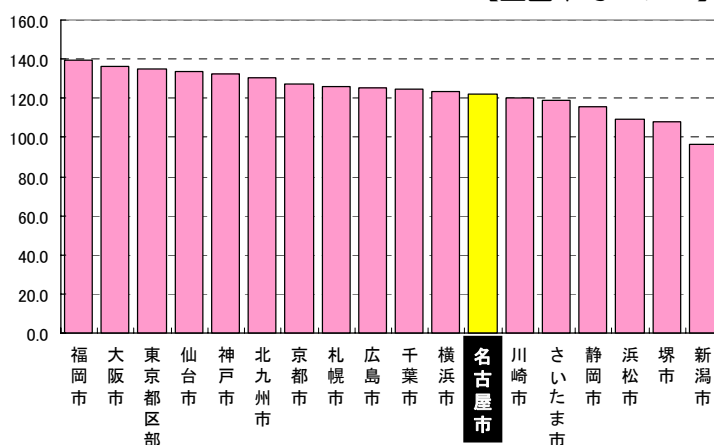
【全国平均＝100】



「被服及び履物」については、本市は122.4と本市の大分類別指数の中で最も高くなっていますが、18大都市では12番目であり、13の都市で全国平均を20ポイント以上、上回っています。【図3、表1】

図3 大都市別全国物価地域差指数（被服及び履物）

【全国平均＝100】



参考図 名古屋市、東京都区部、大阪市の指数 【全国平均＝100】

